

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	文学国語	時間数	3時間
一学期中間試験まで					
単元名	第一部 第二章 小説(一)「山月記」				使用教材
単元の概要	人間が虎に変身するという極限状態を描くことで理不尽な運命に翻弄される人間の苦悩と葛藤を表すとともに自我、自意識の暴走のもたらす人間の悲劇を描く小説。				教科書・図説
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者や歴史的背景、作品の評価など、あらゆる背景知識を踏まえた立体的で深い読解ができる。	B3 まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	C3 主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題を自分の身に引きつけて考えを深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に描かれた李徴の人物像を押さえる。 ・虎になった原因について、李徴はどう考えたのかをまとめる。 ・李徴の詩が一流になるには何が欠けていたかということについて考える。 ・李徴が虎になってしまった原因や「臆病な自尊心と尊大な羞恥心」とは何かについて自分なりに考える。 	
	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 自分なりに考える「山月記の主題」について根拠を明らかにし、論理的な意見にまとめることができる。	C2 主題に対して批判的な見解から見つめ、多角的な視点で自分なりに評価することができる。		
活	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 〈主体性〉 ・授業の参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・この作品の主題について理解し、李徴と引き比べた自分自身について深い考察ができたか。 ・「臆病な自尊心」と「尊大な羞恥心」を含む李徴の人物像について多角的な視点を持って考え、論理的な根拠を持って自分なりにこの作品の主題に対して意見をまとめることができたか。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック					
学年／コース	高校3年生	教科／科目	文学国語	時間数	3時間
一学期中間試験まで					
単元名	第一部 第八章 詩歌「小景異情」「永訣の朝」				使用教材
単元の概要	「小景異情」ふるさとへの複雑な思いを述べた詩 「永訣の朝」死にゆく妹との別離を描いた詩				教科書・図説
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者や歴史的背景、作品の評価など、あらゆる背景知識を踏まえた立体的で深い読解ができる。	B3	C3	「小景異情」ふるさとへの複雑な思いを理解できる。 「永訣の朝」別れの歌である挽歌の形式を踏まえつつ、方言やローマ字、科学用語などを用いて作者独特の世界観を表していることを感じ取る。	
活	A2 イメージと韻律(響きとリズム)をもとにその世界を深めていくことができる。	B2 その作品について自分に引き付け、どのような心情や世界観、イメージを読んでいるのかを他者に理解できるように説明できる。	C2		
礎	A1 語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)・韻文の修辞法を習得し、活用することができる。	B1 その作品について自分なりのイメージを深め、味わうことができる。	C1 その作品について、他の言葉に置き換えた時の違いを比べたり、他の状況に例えたり、他の作品と比べて深く味わうことができる。		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	〈主体性〉 ・授業の参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・それぞれの作品の持つ韻律や修辞法の特徴、表現の工夫などを知り、それが作品にどのような影響を与えているのかについて考え、味わうことができたか。 ・それぞれの作品の持っている世界観やイメージ・主題について考え、他者に説明することができたか。	

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	文学国語	時間数	3時間
一学期中間試験まで					
単元名	第二部 第一章 随想・評論(一)「陰翳礼讃」			使用教材	
単元の概要	「陰翳礼讃」日本の漆器の美しさは「闇」を考慮したものであるとする評論文			教科書・図説	
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者・それぞれの作品の時代背景や評価などあらゆる背景知識を踏まえた立体的で深い読解ができる。	B3 まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	C3 主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題をにつながる現代社会のテーマについても考えを深めることができる。	「陰翳礼讃」 ・行灯式の電灯と燭台の蠟燭などの照明器具や漆器がどのようなものであるのか理解する。 ・薄暗い昭和初期の日本家屋の夜の様子を想像しながら、筆者がどのように感覚を研ぎ澄ましているか読み取る。 ・漆器の椀の魅力がどのようなものであるのか考える。 ・現代日本人の生活において、陰翳の在り方がどのように変容しているのか考える。	
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 それぞれの主題を把握し、適切な資料やデータ、論文などを援用して論理的な意見にまとめることができる。	C2 主題に対して批判的見解から見つめ、多角的な視点で自分なりに評価することができる。		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し、社会問題などに結び付けながら客観的に考えることができる。		
				〈留意点・評価〉	
				〈主体性〉 ・授業の参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・作品の時代背景を踏まえたうえで筆者の考えを理解することができたか。 ・筆者が投げかけている事柄が現代の社会とどのように関りがあるのかについて自分なりに根拠を持って論理的に意見をまとめることができたか。	
知性・知識		応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック					
学年／コース	高校3年生	教科／科目	文学国語	時間数	3時間
一学期期末試験まで					
単元名	舞姫			使用教材	
単元の概要	ベルリンに入学したことで自我が目覚めた豊太郎が、従来の価値観との板挟みになって自己の意志を定めきれず、近代的自我という点において挫折するという小説			教科書・図説	
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者や歴史的背景、作品の評価など、あらゆる背景知識を踏まえた立体的で深い読解ができる。	B3 まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	C3 主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題を自分の身に引きつけて考えを深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・豊太郎の生い立ちと性格について理解する。 ・豊太郎がベルリンで過ごすうちに近代的自我に目覚めたことを理解する。 ・近代的自我と封建的な従来の価値観の対立を理解する。 ・豊太郎が自らの意志でどちらかを選択することを先延ばしにした結果、追い込まれてしまったことを理解する。 ・友の言に従いエリスを捨てたことでエリスが発狂し、心中に複雑な恨みを抱いて帰国したことを理解する。 	
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 自分なりに考える「舞姫の主題」について根拠を明らかにし、論理的な意見にまとめることができる。	C2 主題に対して批判的な見解から見つめ、多角的な視点で自分なりに評価することができる。		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し客観的に考えることができる。		
				〈留意点・評価〉	
				<ul style="list-style-type: none"> 〈主体性〉 ・授業の参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・複数あるこの作品の主題をどのくらい把握することができたか。 ・「豊太郎」「エリス」「相澤」などの人物をについて深く考察し、それぞれの立場に立って多角的な視点から考え、論理的な根拠を持って自分なりにこの作品の主題に対して意見をまとめることができたか。 	
知性・知識		応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	文学国語	時間数	3時間
一学期期末試験まで					
単元名	第一部 第八章 詩歌「短歌」「死にたまふ母」			使用教材	
単元の概要	「短歌」正岡子規及び現代短歌の中心的な歌人の代表的な短歌 「死にたまふ母」斎藤茂吉の連作短歌			教科書・図説	
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者や歴史的背景、作品の評価など、あらゆる背景知識を踏まえた立体的で深い読解ができる。	B3	C3	「短歌」それぞれの歌人の背景を知り、多様な表現と内容を実感する。 「死にたまふ母」連作短歌としての物語性と歌人独自の取り合わせや韻律などの効果を感じ取る。	
活	A2 イメージと韻律(響きとリズム)をもとにその世界を深めていくことができる。	B2 その作品について自分に引き付け、どのような心情や世界観、イメージを読んでいるのかを他者に理解できるように説明できる。	C2		
礎	A1 語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)・韻文の修辞法を習得し、活用することができる。	B1 その作品について自分なりのイメージを深め、味わうことができる。	C1 その作品について、他の言葉に置き換えた時の違いを比べたり、他の状況に例えたり、他の作品と比べて深く味わうことができる。		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	文学国語	時間数	3時間
二学期中間試験まで					
単元名	こころ				使用教材
単元の概要	エゴ(自分の感情や欲望)を優先することで起こった悲劇や人間の孤独・人生の不条理について考 えさせる小説				教科書・図説・「こころ」の文 庫本
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者や歴史的背景、 作品の評価など、あ らゆる背景知識を踏 まえた立体的で深い 読解ができる。	B3 まとめた自分の意見 をわかりやすく工夫 して発表し、他者の 意見と比較しながら 再構築することができる。	C3 主題に対して総合的 な見解を持つだけで なく、主題を自分の 身に引きつけて考え を深めることができ る。	・文庫本に描かれている「私」が「先生」に傾倒することになった経 緯や家族との関係について理解する。 ・「K」の家庭環境や状況から人物像を考え、どのような心情の変化 をしていったのかを考察する。 ・「K」の死後の「先生」の状況を文庫本の「上」の部分と合わせて考 える。 ・時代背景を知り、その時代の文化や時代の空気にも理解が及ぶ ようにする。	
	活	A2 主題を理解した上 で、簡潔に内容を要 約できる。	B2 自分なりに考える 「こころの主題」につ いて根拠を明らかに し、論理的な意見に まとめることができ る。		
礎	A1 文章の概要を掴ん だ上で、語句に関す る知識(漢字・言葉 の意味など)を習得 し、活用することが できる。	B1 文章の主題に対して 自分の意見を構築 することができる。	C1 主題をメタ化・一般 化し客観的に考える ことができる。	〈留意点・評価〉	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	〈主体性〉 ・授業の参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・複数あるこの作品の主題をどのくらい把握することができたか。 ・「先生」「K」「私」などの人物をについて深く考察し、それぞれの立場に立って 多角的な視点から考え、論理的な根拠を持って自分なりにこの作品の主題に 対して意見をまとめることができたか。	

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	文学国語	時間数	3時間
二学期期末試験まで					
単元名	第二部 第七章 小説(三)「沈黙」			使用教材	
単元の概要	中学二年の時、青木という同級生を殴ったことがあるという大沢が、忘れたいが絶対に忘れられないという青木との中学・高校時代の思い出を「僕」に語るとい形で書かれた小説			教科書・図説・「こころ」の文庫本	
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者や歴史的背景、作品の評価など、あらゆる背景知識を踏まえた立体的で深い読解ができる。	B3 まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	C3 主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題を自分の身に引きつけて考えを深めることができる。	・大沢の話から彼の置かれた辛く苦しい内面と、彼を追い詰める周囲の人間の様子を読み取る。 ・大沢の話を受け止める「僕」の存在の意味を問うことで重層的な視点から読会を行い、人間心理への理解を深める。	
	活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 自分なりに考える「沈黙の主題」について根拠を明らかにし、論理的な意見にまとめることができる。		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 〈主体性〉 ・授業の参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・大沢の回想を通してそれが彼に与えた影響、内面がどのように変化したかを読み取ることができたか。 ・文章中の描写に注意を払いつつ、そこに描かれた人間のあり方について思索を深めることができたか。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	文学国語	時間数	3時間
一学期期末試験まで					
単元名	第二部 第六章 詩歌 俳句			使用教材	
単元の概要	「短歌」正岡子規及び現代短歌の中心的な歌人の代表的な短歌 「死にたまふ母」斎藤茂吉の連作短歌			教科書・図説	
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者や歴史的背景、作品の評価など、あらゆる背景知識を踏まえた立体的で深い読解ができる。	B3	C3	それぞれの俳人の背景を知り、多様な表現と内容を実感する。	
活	A2 イメージと韻律(響きとリズム)をもとにその世界を深めていくことができる。	B2 その作品について自分に引き付け、どのような心情や世界観、イメージを読んでいるのかを他者に理解できるように説明できる。	C2		
礎	A1 語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)・韻文の修辞法を習得し、活用することができる。	B1 その作品について自分なりのイメージを深め、味わうことができる。	C1 その作品について、他の言葉に置き換えた時の違いを比べたり、他の状況に例えたり、他の作品と比べて深く味わうことができる。	〈留意点・評価〉 〈主体性〉 ・授業の参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・それぞれの作品の持つ韻律や修辞法の特徴、表現の工夫などを知り、それが作品にどのような影響を与えているのかについて考え、味わうことができたか。 ・それぞれの作品の持っている世界観やイメージ・主題について考え、他者に説明しすることができたか。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		